



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月12日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 遠藤照明

コード番号 6932 URL <http://www.endo-lighting.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 遠藤 良三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営品質本部長

(氏名) 佐川 武志

TEL 06-6267-7095

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	4,453	22.5	349	298.0	279	—	△46	—
23年3月期第1四半期	3,637	17.8	87	630.0	△23	—	△793	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △59百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △845百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△3.69	—
23年3月期第1四半期	△62.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	23,470	6,876	29.3
23年3月期	22,691	7,062	31.1

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 6,868百万円 23年3月期 7,052百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	12.50	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,510	22.3	1,280	43.5	1,000	52.7	630	—	49.93
通期	23,000	21.7	3,350	45.6	2,660	44.3	1,650	261.9	130.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	13,462,068 株	23年3月期	13,462,068 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	843,450 株	23年3月期	843,450 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	12,618,618 株	23年3月期1Q	12,618,694 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了し、8月12日付でレビュー報告書を受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の影響による生産の落ち込み、米国の景気停滞、欧州の金融不安などにより一層の景気減退の懸念が深まっております。

このような状況の下で、当社グループは高付加価値空間創造企業として、省エネルギーと環境を重視した高効率LED照明器具や省エネ機器の新製品開発並びに製造販売に経営資本を集中させて取り組んで参りました。

また、健全な企業体質を構築するために内部統制システムの充実と確立に向け内部統制委員会を中心に体制の整備を進めて参りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は44億53百万円（前年同四半期比22.5%の増収）となりました。売上高の増加に伴い、経常利益は2億79百万円（前年同四半期は23百万円の経常損失）と増益となりました。一方将来の為替リスクに備えるための為替予約等の評価損2億96百万円を特別損失に計上いたしました結果、四半期純損失は46百万円（前年同四半期は7億93百万円の四半期純損失）となりました。

なお、東日本大震災により、4、5月度は売上高が予算に達しませんでしたでしたが6月以降順調に回復しております。また、当社グループに一部設備の被害や停電等による影響はありましたが、企業活動に深刻な影響を与える被害はありませんでした。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①照明器具関連事業

業務用LED照明器具分野で業界トップクラスの品揃えと性能を実現し、東京、大阪、福岡、名古屋、仙台、札幌の6大都市にLED照明専門のショールームを設置し、展示会等を開催し積極的に拡販いたしました。

その結果、従来の商業施設用照明器具メーカーから、業務用LED照明分野のトップメーカーとしてのブランドが定着し、特に大手設計事務所、スーパーゼネコン、サブコン等に評価され、百貨店やオフィス等の大型施設向けの販売が順調に推移いたしました。

これにより、LED照明器具の売上高は27億円となり、当社の中核製品に成長し売上高の増加に大きく貢献いたしました。

海外子会社であるENDO Lighting(THAILAND)Public Co.,Ltd.及び昆山恩都照明有限公司（中国）は、LED照明器具の主力製造工場としての体制が整い、高品質でローコストな製品の安定供給を実現し、当社グループの売上並びに利益の拡大に寄与いたしました。

この結果、売上高は43億37百万円（前年同四半期比25.5%の増収）（セグメント間取引含む。以下同じ。）、セグメント利益（営業利益。以下同じ。）は6億80百万円（前年同四半期比17.8%の増益）となりました。

②環境関連事業

省エネ照明器具や制御機器のレンタル並びに販売が主体の子会社イーシームズ株式会社は、食品スーパーを始め、流通店舗等の省エネ照明器具や制御機器による消費電力の削減効果が高い評価を得て、順調に契約件数を伸ばしました。

この結果、売上高は3億54百万円（前年同四半期比98.9%の増収）、セグメント利益は57百万円（前年同四半期比385.0%の増益）となりました。

③インテリア家具事業

業務用家具に特化したカタログを建築士やインテリアデザイナー等に配布し、東京、大阪本社ショールーム等を活用して積極的に販促活動に取り組む一方、家具流通における代理店の強化や特注家具にも積極的に取り組み、ブランドの浸透と販路開拓を進めて参りました。

しかしながら、景気減速懸念に加え東日本大震災の影響により当第1四半期連結累計期間は減収となりました。一方、コストダウン・物流効率化を推し進め採算面では向上しました。

この結果、売上高は1億7百万円（前年同四半期比22.7%の減収）、セグメント損失は16百万円（前年同四半期は80百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間における総資産は234億70百万円（前連結会計年度末比7億78百万円の増加）となりました。

主な要因は、棚卸資産が15億9百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間における負債は165億93百万円（前連結会計年度末比9億64百万円の増加）となりました。

主な要因は、支払手形及び買掛金の増加7億32百万円、借入金の増加5億14百万円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間における純資産は68億76百万円（前連結会計年度末比1億85百万円の減少）となりました。

主な要因は、剰余金の配当1億26百万円及び四半期純損失46百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年5月13日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,654	1,140
受取手形及び売掛金	5,087	4,428
商品及び製品	3,418	4,501
仕掛品	402	487
原材料及び貯蔵品	2,326	2,668
繰延税金資産	372	304
その他	786	1,250
流動資産合計	14,048	14,780
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,957	4,079
減価償却累計額	△2,086	△2,105
建物及び構築物(純額)	1,870	1,973
機械装置及び運搬具	1,272	1,434
減価償却累計額	△969	△985
機械装置及び運搬具(純額)	302	449
土地	3,144	3,136
建設仮勘定	409	60
その他	2,504	2,700
減価償却累計額	△1,595	△1,696
その他(純額)	909	1,003
有形固定資産合計	6,635	6,623
無形固定資産		
ソフトウェア	95	648
ソフトウェア仮勘定	608	—
借地権	73	74
電話加入権	2	2
無形固定資産合計	779	726
投資その他の資産		
投資有価証券	198	202
繰延税金資産	581	689
その他	732	736
貸倒引当金	△284	△289
投資その他の資産合計	1,228	1,339
固定資産合計	8,643	8,689
資産合計	22,691	23,470

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,307	4,040
短期借入金	4,181	4,114
1年内返済予定の長期借入金	737	877
未払法人税等	418	104
賞与引当金	224	52
役員賞与引当金	20	—
製品保証引当金	180	188
デリバティブ債務	117	163
その他	1,096	1,041
流動負債合計	10,283	10,582
固定負債		
社債	300	300
長期借入金	1,396	1,838
退職給付引当金	426	433
役員退職慰労引当金	362	366
修繕引当金	10	10
デリバティブ債務	2,723	2,931
その他	126	130
固定負債合計	5,345	6,010
負債合計	15,629	16,593
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,529	3,529
資本剰余金	2,176	2,176
利益剰余金	1,689	1,516
自己株式	△249	△249
株主資本合計	7,145	6,972
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	1
為替換算調整勘定	△94	△106
その他の包括利益累計額合計	△93	△104
少数株主持分	10	8
純資産合計	7,062	6,876
負債純資産合計	22,691	23,470

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	3,637	4,453
売上原価	2,077	2,342
売上総利益	1,559	2,111
販売費及び一般管理費	1,471	1,761
営業利益	87	349
営業外収益		
受取利息及び配当金	2	2
受取賃貸料	5	7
仕入割引	1	4
その他	7	8
営業外収益合計	16	21
営業外費用		
支払利息	15	23
売上割引	40	45
為替差損	66	19
その他	5	2
営業外費用合計	128	91
経常利益又は経常損失(△)	△23	279
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券受贈益	4	—
特別利益合計	4	0
特別損失		
固定資産除売却損	1	15
減損損失	3	—
デリバティブ評価損	1,112	296
その他	0	—
特別損失合計	1,117	312
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,137	△32
法人税、住民税及び事業税	9	69
法人税等調整額	△351	△50
法人税等合計	△342	18
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△794	△50
少数株主損失(△)	△0	△3
四半期純損失(△)	△793	△46

四半期連結包括利益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△794	△50
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	1
為替換算調整勘定	△44	△10
その他の包括利益合計	△50	△9
四半期包括利益	△845	△59
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△844	△57
少数株主に係る四半期包括利益	△1	△2

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計
	照明器具 関連事業	環境関連 事業	インテリア家 具事業	リビング 事業	計	
売上高						
外部顧客への売上高	3,338	135	139	24	3,637	3,637
セグメント間の内部売上高 又は振替高	116	43	—	—	159	159
計	3,454	178	139	24	3,796	3,796
セグメント利益又は損失 (△)	577	11	△80	△19	489	489

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	489
セグメント間取引消去	△16
全社費用(注)	△385
四半期連結損益計算書の営業利益	87

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	照明器具 関連事業	環境関連 事業	インテリア家具 事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	4,011	334	107	4,453	4,453
セグメント間の内部売上高 又は振替高	325	20	—	345	345
計	4,337	354	107	4,799	4,799
セグメント利益又は損失 (△)	680	57	△16	721	721

(注) なお、前連結会計年度末をもってリビング事業から撤退しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	721
セグメント間取引消去	△39
全社費用(注)	△332
四半期連結損益計算書の営業利益	349

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。